

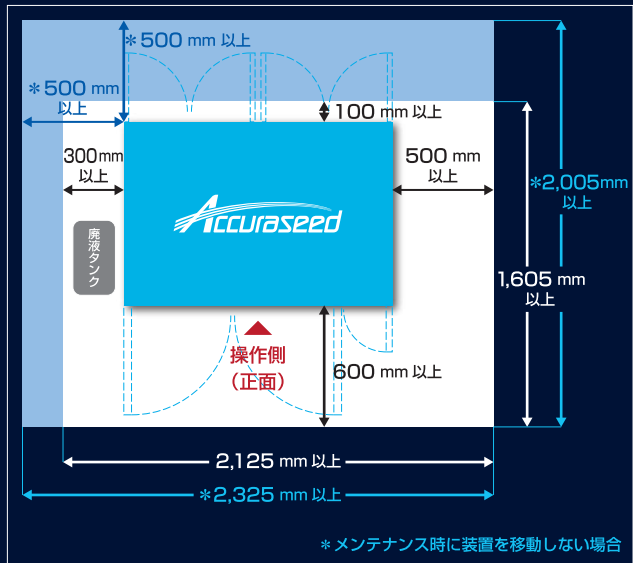
SPECIFICATIONS



製品仕様

一般的名称	免疫発光測定装置
商品名	自動化学発光酵素免疫分析装置 Accuraseed®
測定原理	CLEIA 法
分析方式	ディスクリートシングルライン ランダムアクセス
同時分析項目数	最大 24 項目
処理能力	180 テスト / 時間
反応時間	10 分
試薬架設	試薬カセット (20 テスト入り) × 24 本 随時追加可能
検体架設	最大 50 検体 (ラック方式、1 ラック 5 検体架設) 随時追加可能 緊急・割り込み処理可能 試験管、サンプルカップ、微量カップ 混在可能
サンプル分注	ディスポーザブルチップによるピペッティング方式 チップ架設数 70 本 × 4 随時追加可能
サンプル量	10 ～ 35 μ L
検体管理	サンプル ID (バーコード)、ラック ID (バーコード)、シーケンシャル番号割付
試薬管理	試薬情報、基本検量線情報 (2 次元コード)
試薬保冷機能	7 $\pm$ 3℃
データ保存	20,000 テスト
表示	液晶 (17 インチ タッチパネル式)、GUI (日本語) 操作
使用環境条件 (動作時)	温度: 15 ～ 30℃ 湿度: 30 ～ 80%RH (結露なきこと) 外光: 室内使用 (直射日光が当たらないこと)、蛍光灯 6,000 ルクス以下
電源定格	電源電圧: 単相 AC100V $\pm$ 10% 周波数: 50/60Hz 消費電流: 10A 電撃に対する保護の形式: クラス 1 機器 接地: D 種接地 (接地抵抗 100 Ω 以下)
外部接続	LAN、RS-232C
寸法・重量	幅 1,325 × 奥行 905 × 高さ 1,415 (mm) 460Kg (標準仕様)
オプション	廃棄タンク、外付けプリンター、ハンディバーコードリーダー、外部搬送

設置スペース



医療機器届出番号 27B3X00024000015

本製品の仕様およびその数値は 2018 年 4 月のものです。改良の為、変更する場合があります。ご了承下さい。

* Accuraseed® は富士フイルム和光純薬株式会社の登録商標です。

Accuraseed

自動化学発光酵素免疫分析装置

免疫検査は新たなステージへ

より高い **信頼性**・**効率性**・**操作性** を提供します

信頼性

- 測定に必要なすべての試薬が封入されたモノテスト試薬
- ディスポーザブルチップ採用
- WQC®-web(和光精度管理システム)が利用可能

*ご利用にはパソコンとインターネット回線が必要です。



効率性

- キャリブレーションは2点を実測
- 2次元コードによる試薬/コントロール管理
- B/F分離液は2本セット、無駄なく自動切替え



操作性

- 最大24項目、ワンタッチで架設可能
- 試薬・消耗品管理の軽減
- 測定に必要な検体・試薬・消耗品全てが随時追加可能
- 日本語 GUI タッチパネル



反応時間10分が免疫検査の流れを変えます

迅速性・高感度を
実現した
新しい技術

集磁・分散性に優れた
磁性粒子「マグラピッド®」
を使用

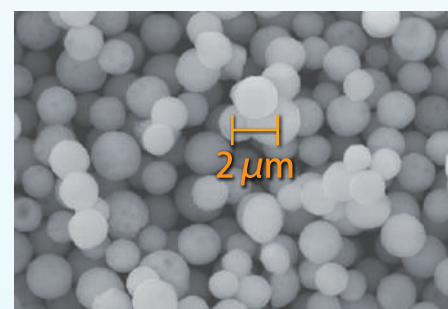
高感度を実現する
発光物質「L-012」
の実用化

装置・試薬性能を
最大限発揮する
カートリッジ形状

集磁・分散性に優れた磁性粒子「マグラピッド®」

アキュラシードでは磁性粒子「マグラピッド®」を新たな固相として採用。集磁・分散性に優れ、従来試薬よりもB/F分離や免疫反応に要する時間を短縮することにより、CLEIA法での全項目反応時間10分を実現しました。

* マグラピッド®は三洋化成工業株式会社の登録商標です。

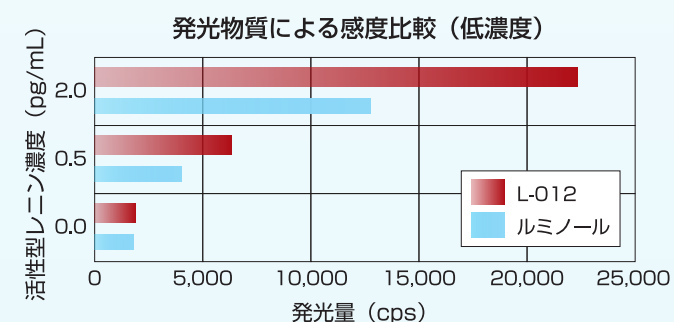


電子顕微鏡写真 ×4,000

高感度を実現する発光物質「L-012」

発光物質「L-012」を用いた高感度試薬の開発により、従来のルミノールと比較して、低濃度域で1.5倍、高濃度域で2倍以上、高感度となりました。高血圧性疾患のバイオマーカー（活性レニン・アルドステロン濃度）で使用し、両項目をNon-RIA化しました。

（項目特性に合わせて一部の試薬に使用しています）



測定の流れ 2ステップサンドイッチ法の例

